

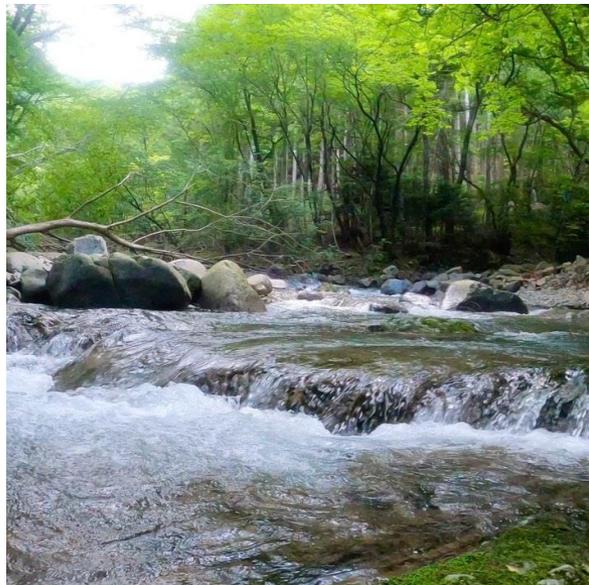
環境経営レポート

— 2022年度版 —

株式会社 生晃

発行日 : 2023年6月8日

対象期間 : 2022年5月1日~2023年4月30日



地元鹿沼市大芦川の清流

目次

	ページ		ページ
I. 鹿沼市のご案内	・・・ 2	7. 会社周辺の清掃の推進	・・・ 13
II. 生晃のご案内	・・・ 3	8. コピー用紙使用量の削減	・・・ 14
III. 取り組み対象範囲と組織	・・・ 4	9. 環境に配慮した製品設計の推進	・・・ 15
IV. 環境経営方針	・・・ 5	10. その他の活動	・・・ 16
V. 環境目標に対する取り組み	・・・ 6	VI. 2022年度実績の総括	・・・ 17
1. 二酸化炭素排出量の削減	・・・ 7	VII. 環境関連法規等の遵守状況並びに訴訟 ・苦情の有無	・・・ 18
2. 電力使用量の削減	・・・ 8	VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示 の結果	・・・ 19
3. 化石燃料使用量の削減	・・・ 9	IX. 2023年度の活動に向けて	・・・ 19
4. 廃棄物排出量の削減	・・・ 10		
5. 化学物質の適正な管理	・・・ 11		
6. 水使用量の削減	・・・ 12		

I. 鹿沼市のご案内

当社が所在する鹿沼市を紹介いたします

鹿沼市は栃木県の中西部に位置し、県都である宇都宮市や、観光地として名高い日光市と隣接しております。毎年秋に行われ豪華な行彫刻屋台が練り歩く「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されております。また、特産には、苺、ニラ、こんにゃく、和牛、蕎麦などの農畜産物や、古くから盛んな木工業の製品として、建具、組子細工などがあります。



彫刻屋台



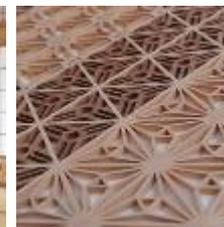
苺



ニラ



建具



組子細工

1. 事業所名	株式会社 生晃 (かぶしきがいしゃ せいこう)
2. 所在地	栃木県鹿沼市茂呂2604 (鹿沼木工団地内)
3. 代表者	代表取締役社長 星野 茂生
4. 電話・FAX	電話(代表) 0289-62-5185 FAX. 0289-62-5187
5. URL	http://www.seikou-sh.co.jp
6. 創業	1948年(昭和23年) 6月1日
7. 設立	1955年(昭和30年) 6月4日
8. 資本金	2,500万円
9. 土地・建物	敷地面積：13,023㎡ うち、建物面積：6,388㎡
10. 従業員数	101名 (2023年4月末日時点)
11. 年商	売上額：33億円 (2022年度実績)
12. エコアクション21認証・登録日	2013年 3月12日
13. 認証・登録番号	0009170
14. 環境管理責任者	経営管理部 部長 島田 浩一
15. 生産活動	<p>木工製品(キャビネット)の製造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムキッチン ・セクショナルキッチン ・洗面化粧台 ・玄関収納 ・その他 <p>前ページのように木工業が盛んな土地柄の中において、当社は木材を主原材料としたキッチンキャビネット等の生産を手掛けております。大手御得意先様よりご注文をいただき、国内市場に年間約26万台の製品を出荷しております。</p>

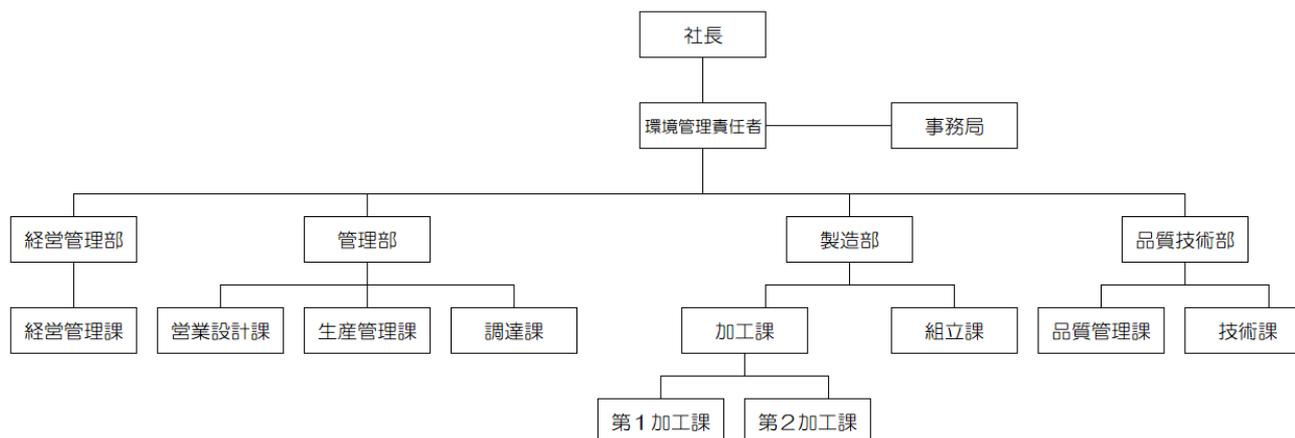


Ⅲ. 取り組み対象範囲と組織

取り組み対象範囲と組織を紹介いたします

1. 対象事業所 : 本社・工場、第3工場、フクイ倉庫
2. 対象活動 : 木工製品(システムキッチン・セクショナルキッチン・洗面化粧台・玄関収納等)の組み立て、製造
エコアクション21の取り組み対象範囲は、全社におけるすべての事業活動です。
3. 環境経営システムの組織 : 下図のとおりです。

【環境経営システム組織図】



職名	責任及び権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・環境管理責任者の任命 ・取組みを適切に実行するための資源(人、物、金)の用意 ・取組み全体の評価と見直し ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの責任者としての責任及び権限を他の責任に関わらず持つ ・取組み実績の社長への報告
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標達成のための活動の指示 ・環境関連法令等の遵守の指示
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標達成のための活動の実践 ・環境関連法令等の遵守の実践
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・取組み計画の立案 ・取組み実績の取りまとめ ・環境経営レポートの作成

〈 基本理念 〉

私たちは、事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した活動を推進し、地球の恵みを未来へ引き継ぐことを目指します

〈 行動指針 〉

1. 目標と活動計画を策定し、その活動状況を定期的に見直し、継続的な改善を行います
2. 環境に関する法令等を遵守します
3. 当社の木製キャビネット製造事業が環境に与える影響を十分考慮し、次の項目を重点課題として取り組みます
 - (1) 省資源、省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 化学物質の適正な管理
 - (4) 水使用量の削減
 - (5) 森林資源、生物多様性等の自然環境の保全
 - (6) 3S活動、品質ロス削減によるムダのないモノづくりの推進
4. 社員教育により意識の向上を図り、環境保全活動に全員で取り組みます
5. 地域社会の一員として、社会貢献活動に積極的に参画します

2019年10月 1日

株式会社 生晃 代表取締役社長

星野茂生

当社は環境目標として次の9つの項目を設定して取り組んできました。



1. 二酸化炭素排出量の削減



2. 電力使用量の削減



3. 化石燃料使用量の削減



4. 廃棄物排出量の削減



5. 化学物質の適正な管理



6. 水使用量の削減



7. 会社周辺の清掃の推進



8. コピー用紙使用量の削減



9. 環境に配慮した製品設計の推進

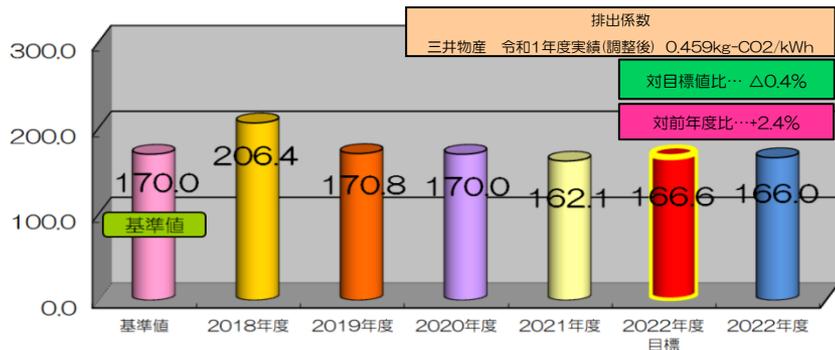
これらの項目に「10. その他の活動」を加え

- 「これまでの実績」として2022年度を中心とした実績とそれに対する評価を
 - 「これからの計画」として次期(2023年度)を中心とした計画を
- 次のページから報告します。

1. 二酸化炭素排出量の削減

これまでの実績

1) 過去5年間の実績 売上百万円当り • 単位：KG-CO2



参考 総量 • 単位：KG-CO2



2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績
当社の二酸化炭素排出量は、電力使用量と化石燃料使用量によります。従って活動計画に対する取り組み実績は、8ページ「2. 電力使用量の削減」、9ページ「3. 化石燃料使用量の削減」のとおりとなります。

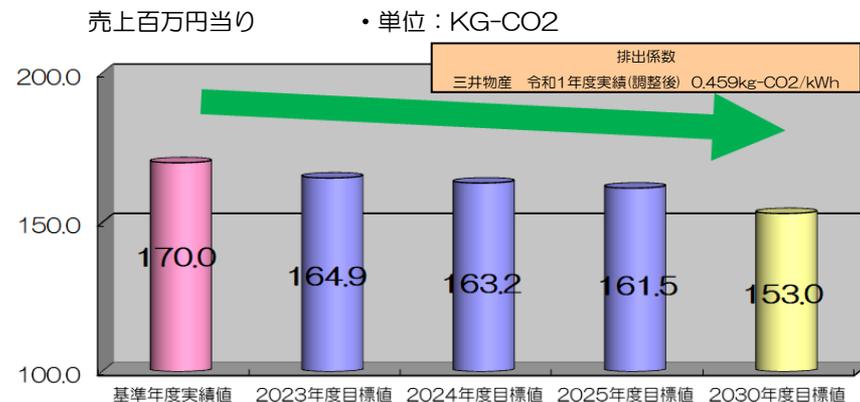
3) 2022年度の評価
売上百万円当りの排出量は、対目標値比で0.4%削減出来ました。一方で対前年度比では売上百万円当り及び総量ともに増加してしまいました。

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)からの目標値



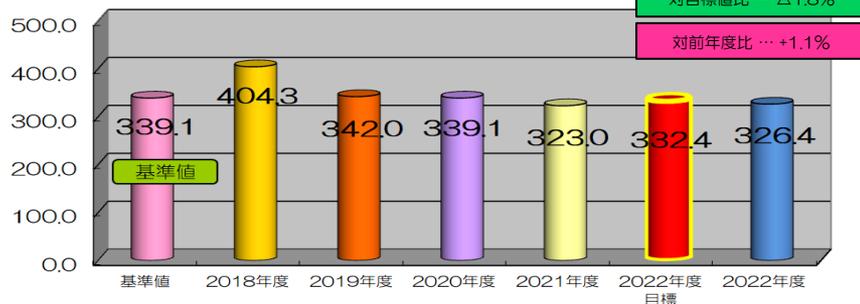
	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	170.0	164.9	163.2	161.5	153.0
削減率	—	3.0%	4.0%	5.0%	10.0%

2) 次年度(2023年度)の取り組み計画
8ページ「2. 電力使用量の削減」、9ページ「3. 化石燃料使用量の削減」の取り組み計画により、排出量削減を図ります。

2. 電力使用量の削減

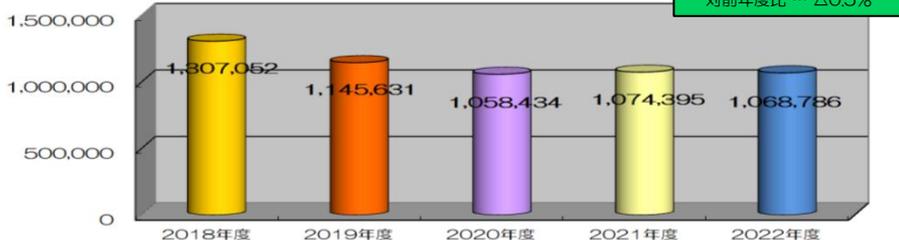
これまでの実績

- 1) 過去5年間の実績 売上百万円当り ・単位：kWh



参考

総量 ・単位：kWh



- 2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績
「とちぎ省エネお助け隊」のサポートによる … ○ 実施
省エネ活動

- ① 前年度電力使用量との比較検証
- ② 省エネ意識情勢のための取組み
- ③ 第2工場集塵機のインバータ化
- ④ 第1工場生産設備での電流計測
- ⑤ 加工ライン改善

- 3) 2022年度の評価

売上百万円当りの排出量は、対目標値比で1.8%削減出来ました。また、総量の対前年度比も0.5%の削減となりました。一方で売上百万円当りの対前年度比では、1.1%増加してしまいました。

2022年度の評価は



これからの計画

- 1) 次年度(2023年度)から3か年の目標値
売上百万円当り ・単位：kWh



	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	339.1	329.0	325.6	322.2	305.2
削減率	—	3.0%	4.0%	5.0%	10.0%

「とちぎ省エネお助け隊」にサポートいただき、左記計画への取組みを行いました。

- ・「③ 第2工場集塵機のインバータ化」では、電力削減量試算では15,222kWh/年、二酸化炭素削減量試算では7,000-KGCO₂/年とすることが出来たなど、成果を得ることが出来ました。

また、当社の省エネに対する取組み実績を評価いただき、省エネ大賞審査専門委員会より審査員特別賞 関東地区電気使用合理化委員会より最優秀賞 を頂戴しました 御指導いただきました皆様に感謝申し上げます 表彰についてはP16でも紹介します

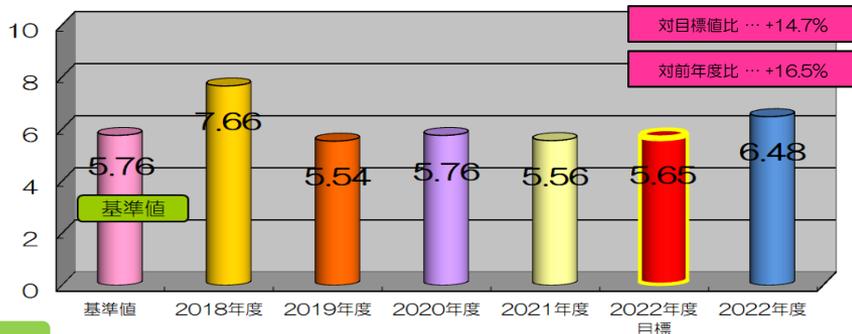
- 2) 次年度(2023年度)の取り組み計画
引き続き「とちぎ省エネお助け隊」にご指導いただき、省電力への活動を進めていきます。

3. 化石燃料使用量の削減

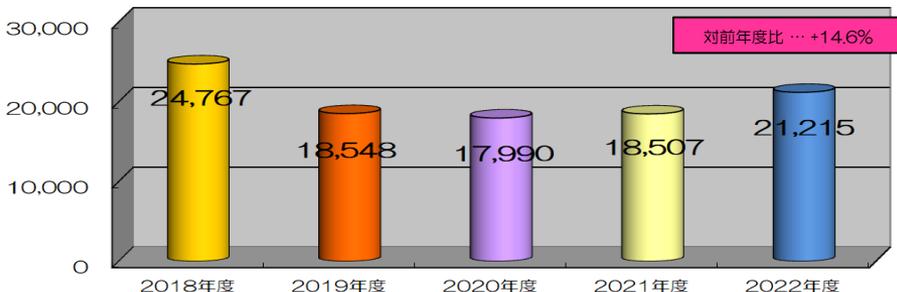
これまでの実績

当社で使用している化石燃料 ・灯油 ・軽油 ・ガソリン

1) 過去5年間の実績 売上百万円当たり ・単位：ℓ



参考 総量 ・単位：ℓ



2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績

- アイドリングストップの呼び掛け(掲示物の設置) … ○ 実施
- 社用車へのエコドライブリーフレットの備え付け … ○ 実施
- 軽油フォークリフトからバッテリーフォークリフトへの変更 … ○ 実施

3) 2022年度の評価

売上百万円当たりの使用量は、対目標値比で14.7%超過してしまいました。

また、売上百万円当たり及び総量ともに、前年度を上回ってしまいました。

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)から3か年の目標値

売上百万円当たり ・単位：ℓ



	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値	2030年度目標値
基準値/目標値	5.76	5.59	5.53	5.48	5.19
削減率 (%)	—	3.0%	4.0%	5.0%	10.0%

2) 次年度(2023年度)の取り組み計画

- アイドリングストップの呼び掛け(掲示物の設置)
- 社用車へのエコドライブリーフレットの備え付け

4. 廃棄物排出量の削減

これまでの実績

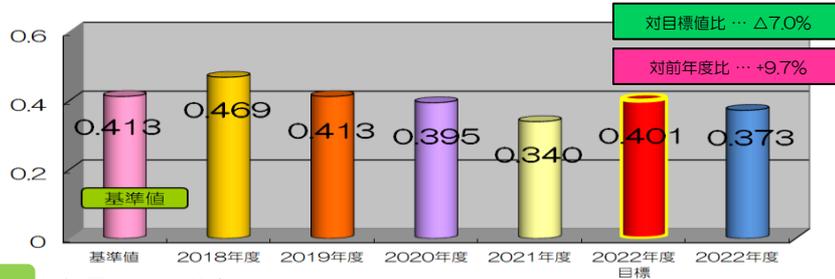
当社で排出している主な廃棄物

- ・木くず
- ・ビニールゴミ
- ・一般廃棄物
- ・不燃板
- ・PPバンド

1) 過去5年間の実績

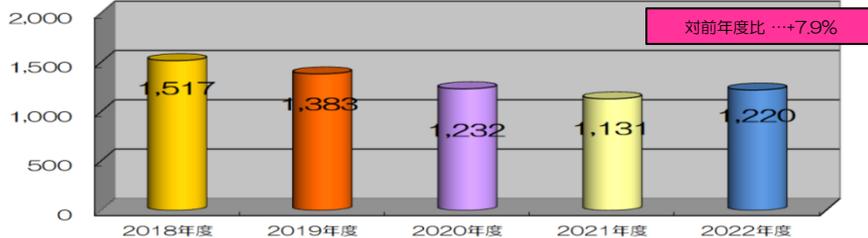
・売上百万円当り

・単位：t



参考

総量 ・単位：t



2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績

- a. 工程内不良削減による使用不可材の削減 … ○ 実施
- b. 木質ボード端材の部材用材料への利用 … ○ 実施
- c. ステンレス用空パレットのメーカーへの返却 … ○ 実施
- d. 不燃ボードのカットサイズ品購入 … ○ 実施
- e. 使用済コピー用紙の再資源化 … ○ 実施

3) 2022年度の活動計画以外の取り組み実績

1月24日、木くずの処理をお願いしている泉工業様を訪問しました。処理工程を詳しく確認させていただきました。

3) 2022年度の評価

目標値はクリアしましたが、売上百万円当り及び総量は前年を超過してしまいました。

2022年度の評価は

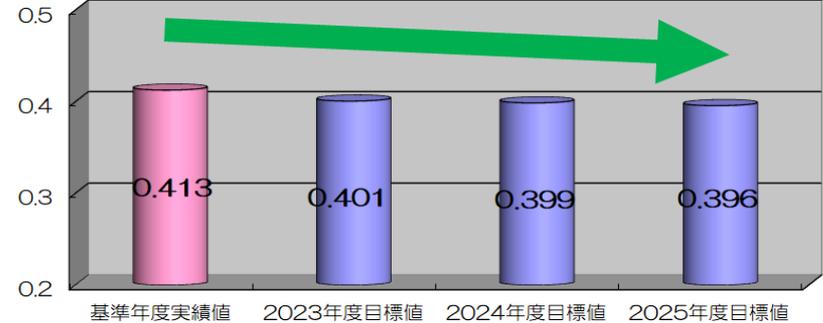


これからの計画

1) 次年度(2023年度)から3か年の目標値

売上百万円当り

・単位：t



	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値
基準値/目標値	0.413	0.401	0.399	0.396
削減率(%)	-	3.0%	3.5%	4.0%

2) 次年度(2023年度)の取り組み計画

- a. 工程内不良削減による使用不可材の削減
- b. 木質ボード端材の部材用材料への利用
- c. ステンレス用空パレットのメーカーへの返却
- d. 不燃ボードのカットサイズ品購入
- e. 使用済コピー用紙の再資源化



5. 化学物質の適正な管理

これまでの実績

1) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績

- a. 化学物質使用量の把握 … ○ 実施
- b. 溶剤容器の適切性の確認と改善 … ○ 実施
- c. 緊急事態訓練の実施 … ○ 実施

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)の取り組み計画

- a. 化学物質使用量の把握
- b. 溶剤容器の確認と改善
- c. 緊急事態訓練の実施
- d. 化学物質管理関連講習会の受講

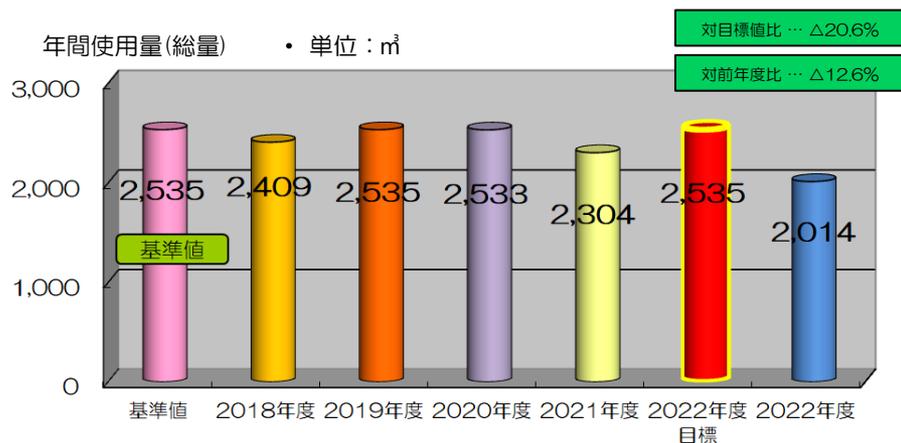
6. 水使用量の削減

これまでの実績

当社での水使用の主な目的

- ・ボイラー用
- ・手洗い用
- ・接着機洗浄用

1) 過去5年間の実績



2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績

- a. 蛇口への節水呼び掛けの表示 … ○ 実施

3) 2022年度の評価

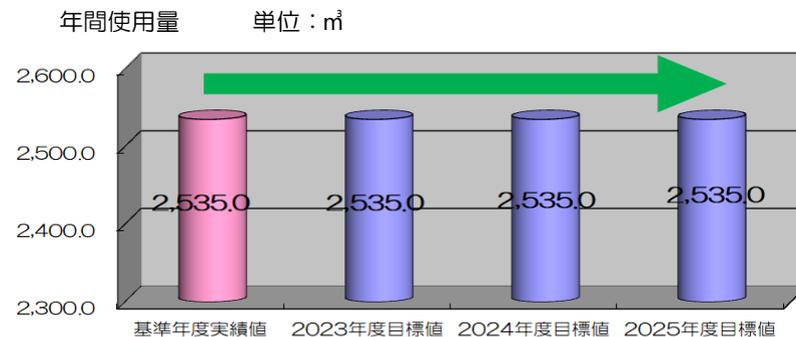
売上百万円当りの使用量は、対目標値比で20.6%、対前年度比で12.6%削減出来ました。

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)から3か年の目標値



	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値
基準値/目標値	2,535.0	2,535.0	2,535.0	2,535.0
削減率(%)	—	0.0%	0.0%	0.0%

2) 次年度(2023年度)の取り組み計画

- a. 蛇口への節水呼び掛けの表示

7. 会社周辺の清掃の推進

これまでの実績

- 1) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績
 - a. 会社周辺道路の当番制による週1回清掃の実施 … ○ 実施
- 2) 2022年度の活動計画以外で行った取り組み実績
 - a. “木工団地クリーンアップ作戦”への参加
 - b. 会社横道路・歩道 街路樹落葉の清掃
2022年12月2日 及び12月15日 に実施

街路樹落葉清掃活動の写真



2022年度の評価は



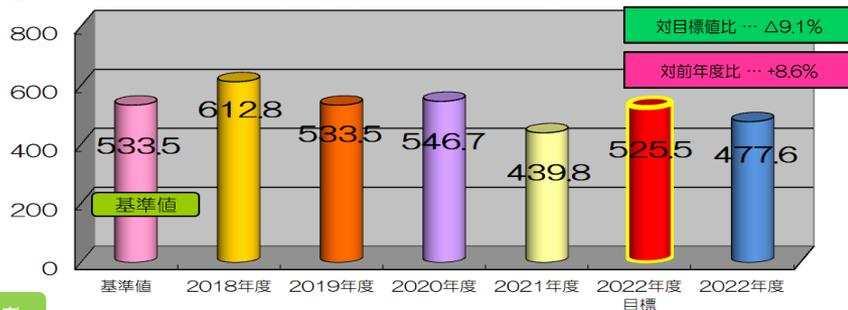
これからの計画

- 1) 次年度(2023年度)の取り組み計画
 - a. 会社周辺道路の週1回清掃の実施
 - b. “木工団地クリーンアップ作戦”への参加
 - c. 会社横道路・歩道 街路樹落葉の清掃

8. コピー用紙使用量の削減

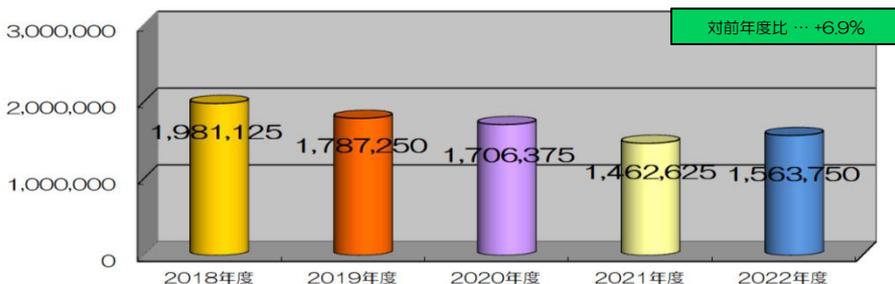
これまでの実績

1) 過去5年間の実績 売上百万円当り ・単位：枚(A4大換算)



参考

総量 ・単位：枚(A4大換算)



2) 2022年度の活動計画に対する取り組み実績

- a. コピー用紙裏紙の再使用 … ○ 実施
- b. 会議資料の紙からプロジェクター使用への変更の推進 … ○ 実施
- c. 生産指示配付資料の削減 … ○ 実施
- d. 新業務システムでのペーパーレス化の検討 … ○ 実施

3) 2022年度の評価

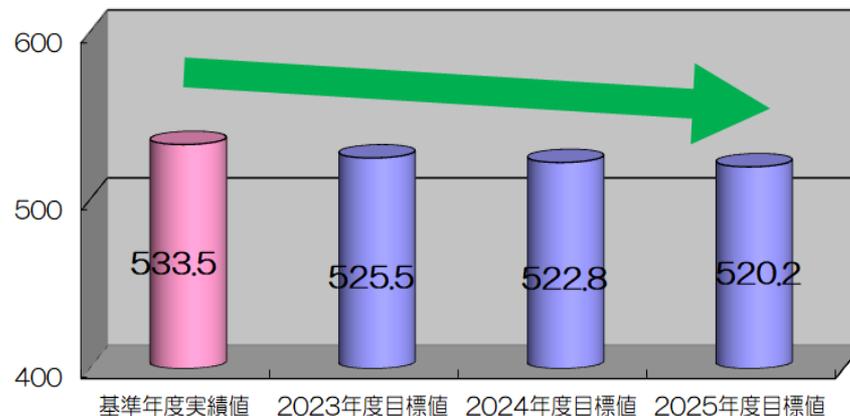
売上百万円当りの使用量は、対目標値比で9.1%、対前年度比で8.6%削減出来ました。

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)から3か年の目標値



	基準値	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値
基準値/目標値	533.5	525.5	522.8	520.2
削減率(%)	—	1.5%	2.0%	2.5%

2) 次年度(2023年度)の取り組み計画

- a. コピー用紙裏紙の再使用
- b. 会議資料の紙からプロジェクター使用への変更の推進
- c. 生産指示配付資料の削減
- d. 新業務システムでのペーパーレス化の検討



これまでの実績

1) 顧客に対する設計変更提案の実施(1件以上/2ヶ月当り)

2022年度は、環境への配慮の観点からの顧客に対する設計変更提案を、2ヶ月当り1件以上行うという目標を立てて、取り組んできました。

内容は

- a. 部材・部品点数の削減
 - b. 端材の部材材料への活用
 - c. 廃棄端材の削減
- などです。

実績は毎月1件(年間で12件)の提案を行うことが出来ました。

2022年度の評価は



これからの計画

1) 次年度(2023年度)の取り組み計画

顧客に対する設計変更提案の実施(1件以上/2ヶ月当り)

- a. 部材・部品点数の削減
- b. 端材の部材材料への活用
- c. 廃棄端材の削減

これまでの実績

- 1) ペットボトルキャップの収集・寄付
2017年12月より開始したペットボトルキャップの回収と寄付を、今年度も継続して行いました。
廃棄物を利用した社会貢献として集めたキャップを団体へ送り、途上国等の子供たちへのワクチン費用としていただきます。
2022年度は、これまでで最多の16,200個のキャップが集まりました。
- 2) 産業廃棄物講習会への参加
産業廃棄物の講習会に参加しました。
講習会名：「排出事業者における産業廃棄物の適正処理及び排出抑制に関する講習会」
実施日：2022年11月29日 場所：栃木県教育会館
主催：栃木県、宇都宮市、及び(公財)栃木県環境保全公社
当社からの参加者：2名
- 3) ボランティア活動
ゴミ拾いのボランティア活動に、社員がチームを作り参加しました。
全参加チーム中、一番沢山の量のゴミを拾い優勝することが出来、表彰していただきました。
イベント名：スポGOMI大会in栃木 壬生大会
実施日：2022年5月14日 主催：栃木県
場所：壬生総合公園を起点としたその周辺地域
当社からの参加者：社員3名

参加者の集合写真



地元紙に載りました



表彰状



2022年度の評価は



これからの計画

- 1) 次年度(2023年度)の取り組み計画
 - a. ペットボトルキャップの収集・寄付
 - b. 環境関連研修会への参加
 - c. 環境関連ボランティア活動への参加

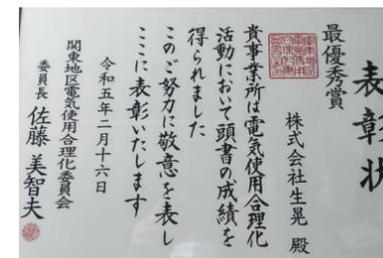
P8 の表彰について

省エネ大賞審査専門委員会より審査員特別賞



関東地区電気使用合理化委員会より最優秀賞

を頂戴しました



環境目標名	数値目標 達成率 青…達成率 赤…未達成率	数値目標 達成状況	活動実施状況	総合評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	100.4%	○ 達成	— (電力使用量の削減及び化石燃料使用量削減の活動による)	
2. 電力使用量の削減	101.8%	○ 達成	○	
3. 化石燃料使用量の削減	14.7%	× 未達成	○	
4. 廃棄物排出量の削減	107.0%	○ 達成	○	
5. 化学物質の適正な管理	— (数値目標は無し)	— (数値目標は無し)	○	
6. 水使用量の削減	120.6%	○ 達成	○	
7. 会社周辺の清掃の推進	100%	○ 達成	○	
8. コピー用紙使用量の削減	109.1%	○ 達成	○	
9. 環境に配慮した製品設計の推進	200%	○ 達成	○	
10. その他の活動	— (数値目標は無し)	— (数値目標は無し)	○	

法規等名称	当社で対応必要な主な内容	対応状況 評価
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を適正に保管する ・許可証のある収集運搬業者及び処理業者と契約する ・マニフェストを適正に管理する 	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象設備について特定施設の届出をする ・騒音を規制基準内に抑える 	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象設備について特定施設の届出をする ・振動を規制基準内に抑える 	○
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ばい煙発生施設に係るばい煙量、又はばい煙濃度を測定し、その結果を記録し、保管する 	○
毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・劇物を貯蔵する場所に「医薬用外劇物」の文字を表示する ・在庫量の定期点検と使用量の把握（入出庫管理）を行う 	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済となった自動車は引取業者に引渡す 	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定家庭用機器を廃棄物として排出する場合は、運搬者に適正に引渡す 	○
ダイオキシン類対策特別措置法	<ul style="list-style-type: none"> ・排出基準に適合しない排出ガス、排水は排出しない ・対象設備について特定施設の届出をする 	○
オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトは点検整備により適正な排出ガス性能を維持する ・フォークリフトは基準適合機械を使用する 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用エアコン及びパッケージエアコンについてフロンを漏出させないようにする 	○
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り環境物品等を選択するよう努める ・環境への負荷の把握のため必要な情報を適切な方法で提供するよう努める 	○
栃木県生活環境の保全等に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場でのアイドリングストップを周知させる 	○
鹿沼市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な包装、容器等を使用し、廃棄物の排出を抑制する 	○
鹿沼市きれいなまちづくり推進条例	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動により地域の美観を損なうことのないよう措置を講じる ・従業員への環境美化に関する意識の啓発を行う 	○

当社に適用される環境関連の法律及び条例は以上の通りです。

今年度中の環境関連の法律及び条例への違反はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。また、社外からの苦情もありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

実施日：2023年3月7日

1. 環境経営システムの有効性及び環境活動の適切性についての評価

数値管理を行っている8項目のうち7項目で目標値を達成し、良い結果を得ることが出来た。

2. 環境経営方針

現行の2019年10月1日付のものを継続する。

3. 環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標の中で二酸化炭素排出量及び電力使用量については、とちぎ省エネお助け隊のご指導による活動の成果により、表彰もいただくことが出来た。引き続きご指導をいただきながら進める。

同じく二酸化炭素排出量及び電力使用量については、改善率目標を毎年1%ずつ上乗せした厳しい設定となっている。達成のため改善策を着実に実行すること。

4. 実施体制

現行の組織体制を継続する。

Ⅸ. 2023年度の活動に向けて

2022年度も環境経営目標の数値目標の多くをクリアすることが出来ました。
環境に関する当社の社会的責任を正しく自覚し、様々な活動を行って参りたいと思います。